

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和7年2月17日(2025.2.17)

【公開番号】特開2023-114778(P2023-114778A)
【公開日】令和5年8月18日(2023.8.18)
【年通号数】公開公報(特許)2023-155
【出願番号】特願2022-17281(P2022-17281)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【FI】
A 6 3 F 7/02 3 3 4

10

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月6日(2025.2.6)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項1】

遊技を制御可能な主基板と、
表示手段と、
音出力手段と、を備える遊技機において、
前記主基板は、
所定の判定処理での判定に基づいて、通常遊技状態よりも入球口に遊技球が入球し易い特別遊技状態に制御可能であり、
遊技者に付与される賞球数に基づく特定計測数を計測可能であり、
前記特別遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準数以上であって当該特別遊技状態が終了すると、遊技を実行不能に制御可能であり、
前記表示手段は、
電源投入後に遊技が実行不能にされた制御が継続されている場合に、遊技が実行不能に制御されていることを示す特別異常文字を表示可能であり、
前記音出力手段は、
電源投入後に遊技が実行不能に制御された制御が継続されている場合で、前記表示手段で前記特別異常文字が表示されているときに、前記特別異常文字を示す特別異常音を出力可能であることを特徴とする遊技機。

30

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0004
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0004】

40

ところで、遊技機では、遊技者が継続した遊技によって、過剰な賞球を獲得することがあり得る。この場合、遊技機が遊技者に対して過剰な賞球を付与しないようにすることはなかった。

【手続補正3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は上記事情に鑑みてなされたものである。すなわち、その課題とするところは、遊技者に過剰な賞球を付与しない遊技機を提供することにある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の遊技機は、
遊技を制御可能な主基板と、
表示手段と、
音出力手段と、を備える遊技機において、
前記主基板は、
所定の判定処理での判定に基づいて、通常遊技状態よりも入球口に遊技球が入球し易い特
別遊技状態に制御可能であり、
遊技者に付与される賞球数に基づく特定計測数を計測可能であり、

前記特別遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準数以上
上であって当該特別遊技状態が終了すると、遊技を実行不能に制御可能であり、

前記表示手段は、

電源投入後に遊技が実行不能にされた制御が継続されている場合に、遊技が実行不能に制
御されていることを示す特別異常文字を表示可能であり、

前記音出力手段は、

電源投入後に遊技が実行不能に制御された制御が継続されている場合で、前記表示手段で
前記特別異常文字が表示されているときに、前記特別異常文字を示す特別異常音を出力可
能であることを特徴とする遊技機である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、遊技者に過剰な賞球を付与しない遊技機を提供することが可能である
。

10

20

30

40

50